

(調査名) 薬剤の情報提供等におけるチーム医療としての評価に係る調査

(調査の趣旨・概要)

薬剤の情報提供に基づく患者に対する薬物療法の充実あるいは医療安全対策推進の観点から、チーム医療の中での薬剤師の技術の評価のあり方について検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

(調査の必要性・意義)

*現状の問題点、期待される効果を含めて可能な限り詳しく記入してください。

医療の現場においては、様々な職種がお互いに連携を取りながら、患者の安全に配慮した医療の提供を行っているが、医療効果を充実させるため、特に医療安全推進、院内感染防止、褥瘡対策、がん化学療法、栄養管理などにおいて、関連する職種間でのさらなる連携の推進が求められている。このようなチーム医療の充実の中で、薬剤師の業務内容は一律でなく多岐にわたっており、チーム医療の中における薬剤師の専門的知識と技術を適正に評価する必要がある。また、これは今後のチーム医療の推進に必須のものである。

(調査対象医療技術・調査対象医療機関等・調査方法)

*調査票(案)を添付してください。

薬剤師が行う情報提供のバックグラウンドとなる技術、チーム医療の中での役割分担とそれに伴う技術を調査対象とする。

平成15年度において薬剤管理指導業務を積極的に推進している施設を調査対象医療機関とする。調査対象病院は指定された様式(調査票・別紙)に従ってデータを提出する。さらに、医療機関を選定したうえで、実地調査を行い、詳細分析を行う。

(今後のスケジュール)

- | | |
|------|---|
| 10月 | 調査対象施設の選定(日本病院薬剤師会の現状調査の分析に基づき選定、約200施設)、調査票の送付 |
| 11月～ | 調査票の回収、分析、検討 |
| 12月 | |
| 12月～ | 実地調査 |
| 3月 | 調査結果報告 |

薬剤の情報提供等におけるチーム医療としての評価に係る調査票(案)

- (1)医療機関名:
 (2)病床区分: 1. 一般病床()床、2. 療養病床()床、3. 亜急性病床()床、4. 精神病床()床
 (3)平均入院患者数: 1. 一般病床()床、2. 療養病床()床、3. 亜急性病床()床、4. 精神病床()床
 (4)平均院内処方せん枚数: ()枚/1日、平均院外処方せん発行枚数:()枚/1日
 (5)薬剤師数: 1. 常勤()名、2. 非常勤()名、3. 薬剤部門事務職員数()名

以下の各項目ごとに、貴院での薬剤師の業務について記載してください。

なお、例示している業務はあくまで例示ですので、それ以外の業務についても、できる限り具体的に「その他」の欄に記載をお願いいたします。

I 院内感染防止対策 - 調査票 1

- 1 院内感染対策委員会について
 委員会構成: a. 医師()名、b. 薬剤師()名、c. 看護師()名、d. 事務()名、e. その他()
 開催頻度: a. ()回/月、b. 随時
 平均開催時間: ()分/1回

- 2 個々の症例に対する適切な抗菌薬を選択するための情報を医師に提供している(起炎菌の同定、薬剤感受性の確認、TDMの実施・解析、体内動態などエビデンスに基づいた情報)

頻度	延べ時間
回/日(週)	時間 (注)

(注)文献検索など準備も含めた所要時間×人数を記載する。以下同様。

- 3 院内での抗菌薬使用の調査・解析結果を委員会に報告し、耐性菌の発現抑止業務を行っている(抗菌薬使用量の管理)

回/月	時間
-----	----

- 4 臨床分離株の薬剤感受性等について調査・解析し、個々の患者の薬剤を選択するための情報を医師に報告している

回/月	時間
-----	----

- 5 MRSA感染症治療薬等の抗生物質の使用状況について委員会に報告し二次感染防止業務を行っている

回/月	時間
-----	----

- 6 菌種、消毒対象物に応じた適切な消毒剤を選択するための情報を看護師などに提供している

回/週	時間
-----	----

- 7 院内での消毒薬使用の調査・解析結果について委員会に報告し、耐性菌の発現防止業務を行っている(消毒剤使用量の管理)

回/月	時間
-----	----

- 8 必要な消毒剤を希釈・調製し、提供している

本/月	時間
-----	----

- 9 O157、SARSなどの新たな感染症が発生したときの治療薬、感染対策等の情報を収集し、またその対策のための活動を行っている

回/年	時間
-----	----

- 10 外用液剤、消毒剤の使用期限や保管方法など、微生物汚染を防止するための情報を看護師等に提供している

回/月	時間
-----	----

- 11 調製後注射剤、分割投与するバイアル剤の使用期限や保管方法など、微生物汚染を防止するための情報を看護師等に提供している

回/月 随時	時間
-----------	----

その他、院内感染対策において実施している業務を記載して下さい。(週又は月毎の回数、延べ時間を付記して下さい)

薬剤師に係わる業務内容	実施頻度及び準備も含めた所要時間

II 医療安全管理 - 調査票 2

1 医療安全管理委員会について

委員会構成: a. 医師()名、b. 薬剤師()名、c. 看護師()名、d. 事務()名、e. その他()

開催頻度: a. ()回/月、b. 随時

平均開催時間: ()分/1回

■ 与薬業務

- 2 薬剤管理指導記録に基づいて処方箋を鑑査し、重複投与、薬物相互作用、投与禁忌等の情報を医師に提供している

頻度	延べ時間
回/日	時間 (注)

(注) 文献検索など準備も含めた所要時間×人数を記載する。以下同様。

- 3 手術予定患者の投与禁忌、服用中止薬等の情報を医師に提供している

回/日	時間
-----	----

- 4 入院患者に対し服用毎に1包化調剤している

回/日	時間
-----	----

- 5 薬剤師が毎日患者に直接与薬している

回/日	時間
-----	----

- 6 処方変更があった場合、再調剤した薬剤を薬剤師が直接交換している。

回/日	時間
-----	----

- 7 薬を自己管理できない患者には、その都度予薬している

回/日	時間
-----	----

- 8 退院患者の薬剤指導管理記録を含めた薬歴、副作用歴、アレルギー歴、薬学的管理の内容等を文書(お薬手帳を含む)により保険薬局等に提供している

回/日	時間
-----	----

■ 持参薬の管理

- 9 入院患者の持参薬を鑑別し、患者への服薬指導を行うとともに、それらの情報について医師等に提供している

回/日	時間
-----	----

- 10 入院患者の持参薬を鑑別し、適切な代替薬についての情報を医師に提供している

回/日	時間
-----	----

- 11 注射剤の混合を薬剤師が行っている。

- (1) 全部行っている

回/日	時間
-----	----

- (2) 一部行っている

高カロリー輸液

回/日	時間
-----	----

抗がん剤

回/日	時間
-----	----

その他()

回/日	時間
-----	----

その他()

回/日	時間
-----	----

その他()

回/日	時間
-----	----

その他()

回/日	時間
-----	----

(3) 行っていない

--	--

12及び13は、11で(1)又は(2)と回答した場合のみ記入してください。

12 混合の場所

(1) 薬剤部

回/日	時間
-----	----

(2) 病棟(サテライト薬局)

回/日	時間
-----	----

13 混合した薬剤の渡し先

(1) 看護ステーション

回/日	時間
-----	----

(2) 患者の病床

回/日	時間
-----	----

14 医師、看護師等への情報提供(投与方法、投与速度、投与間隔、投与経路、投与部位等の情報)

(1) 混合調製した(する)注射剤のすべてに行っている

回/日	時間
-----	----

(2) 必要な場合のみ行っている

回/日	時間
-----	----

(3) 情報提供していない

--	--

■ その他

15 院内事故事例、インシデント事例を分析し事故防止対策を立案している

回/月	時間
-----	----

16 院内の薬物療法委員会等に参画し、又はガイドライン等の策定に参画している

回/月	時間
-----	----

17 クリニカルパスの作成に関与し、その実施に参画している

回/月 随時	時間
-----------	----

18 病棟の医療材料(ステント、カテーテル等医療用材料)を管理している

種類	時間
----	----

その他、医療安全管理において実施している業務を記載して下さい。(日又は週毎の回数、延べ時間を付記して下さい)

薬剤師に係わる業務内容	実施頻度及び準備も含めた所要時間

Ⅲ 褥瘡対策 - 調査票 3

1 褥瘡対策チームについて

チーム構成: a. 医師()名、b. 看護師()名、c. 薬剤師()名、d. 事務()名、e. その他()

2 褥瘡の様々な病期・病態に適した外用薬についての情報を医師に提供している

頻度	延べ時間
回/週	時間 (注)

(注)文献検索など準備も含めた所要時間×人数を記載する。以下同様。

3 褥瘡の様々な病期・病態に適したドレッシング剤についての情報を医師に提供している

回/週	時間
-----	----

4 アルブミン値を指標とする栄養量及び投与経路を設定するための情報を医師に提供している

回/週	時間
-----	----

5 褥瘡の病期・病態に対応した高カロリー輸液療法を実施するための情報を医師に提供している

回/週	時間
-----	----

6 褥瘡の病期・病態に対応した経腸栄養(EN(経口、鼻腔)など)療法を実施するための情報を医師に提供している

回/週	時間
-----	----

7 褥瘡の様々な病期・病態に適した消毒薬を選択するための情報を医師に提供している

回/週	時間
-----	----

8 経管(腸)及び静脈栄養ラインの汚染を防止するための情報を看護師等に提供している

回/週	時間
-----	----

9 院内感染防止の観点から、室内の適切な消毒剤を選択し、適切に使用するための情報を看護師等に提供している

回/月	時間
-----	----

その他、褥瘡対策において実施している業務を記載して下さい。(週又は月毎の回数、延べ時間を付記して下さい)

薬剤師が係わる業務内容	実施頻度及び準備も含めた所要時間

IV 疾病別薬物療法及び指導 - 調査票 4

(1) がん薬物療法

	頻度	延べ時間
1 院内で使用しているプロトコールを調査・分析し、プロトコールに基づき処方せんを鑑査し(投与量、薬物相互作用、投与方法、投与間隔、投与速度、配合変化など)適切な情報を医師に提供している	回/日(週)	時間 (注)
(注)文献検索など準備も含めた所要時間×人数を記載する。以下同様。		
2 処方設定に必要な情報(抗がん剤の感受性試験、可能性のある副作用の予測、予防、副作用の対処、投与適格患者の確認などを医師に提供している)	回/日(週)	時間
3 副作用の初期症状、臨床検査値等をモニターし、適切な情報を医師に提供している	回/日(週)	時間
4 患者・家族のニーズに合致した服薬指導を行っている	回/日(週)	時間
5 患者への服薬指導等の状況について、医師、看護師等に情報提供している。	回/日(週)	時間
6 抗がん剤を混合調製し、投与方法、投与速度、投与間隔、投与経路等の情報を医師、看護師等に提供している	回/日(週)	時間
7 抗がん剤の曝露時の対処等の安全対策情報を医師、看護師等に提供している	回/月	時間

その他、がん薬物療法において実施している業務を記載して下さい。(週又は月毎の回数、延べ時間を付記して下さい)

薬剤師が係わる業務内容	実施頻度及び準備も含めた所要時間

(2) 糖尿病薬物療法

1 薬の正しい使い方などを糖尿病教室で患者に集団指導している

頻度	延べ時間
回/月	時間 (注)

(注)文献検索など準備も含めた所要時間×人数を記載する。以下同様。

2 薬の正しい使い方等を患者に個別指導している

回/週	時間
-----	----

3 コンプライアンスの向上をはかるために継続的に薬の重要性等を患者に説明し、指導内容を医師に情報提供している

回/週	時間
-----	----

4 インスリン自己注射の正しい使い方を患者に指導している

回/週	時間
-----	----

5 副作用の初期症状、臨床検査値等をモニターし、適切な情報を医師に報告している

回/週	時間
-----	----

6 患者への服薬指導等の状況について、医師、看護師等に情報提供している。

回/日(週)	時間
--------	----

その他、糖尿病対策において実施している業務を記載して下さい。(週又は月毎の回数、延べ時間を付記して下さい)

薬剤師が係わる業務内容	実施頻度及び準備も含めた所要時間

(3) 精神科薬物療法

1 向精神薬の取り扱い注意事項について患者・家族に説明している

頻度	延べ時間
回/週	時間 (注)

(注)文献検索など準備も含めた所要時間×人数を記載する。以下同様。

2 向精神薬を適正に管理するための法規について医療従事者に説明している

回/年	時間
-----	----

3 副作用の初期症状、臨床検査値等をモニターし、適切な情報を医師に報告している

回/週	時間
-----	----

4 患者への服薬指導等の状況について、医師、看護師等に情報提供している。

回/日(週)	時間
--------	----

その他、精神科薬物療法において実施している業務を記載して下さい。(週又は月毎の回数、延べ時間を付記して下さい)

薬剤師が係わる業務内容	実施頻度及び準備も含めた所要時間

V 栄養管理 - 調査票 5

	頻度	延べ時間
1 高カロリー輸液を混合調製し、投与速度、投与間隔、投与経路等の情報を医師、看護師等に提供している	回/週	時間 (注)
(注)文献検索など準備も含めた所要時間×人数を記載する。以下同様。		
2 静脈栄養製剤、経腸栄養剤を選択するための情報(総カロリー、糖質、アミノ酸、脂肪量、電解質等)を医師に提供している	回/週	時間
3 注射剤の配合変化に関する情報を医師、看護師等に提供している	回/週	時間
4 静脈注射及び経腸栄養ラインの細菌汚染を防止するための情報を医療従事者に提供している	回/週	時間
5 静脈栄養製剤及び経腸栄養剤投与における副作用症状、臨床検査値をモニターし、適切な情報を医師に報告している	回/週	時間
6 在宅栄養療法へ移行する時に、正しい使い方等を患者に説明している	回/週	時間

その他、栄養管理において実施している業務を記載して下さい。(週又は月毎の回数、延べ時間を付記して下さい)

薬剤師が係わる業務内容	実施頻度及び準備も含めた所要時間